

## リーディングDXスクール事業【実践事例】

佐世保市立中里中学校（長崎県）

## 【取組内容①】「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」（自己調整力を高める授業）

- ・授業において、生徒が学び方や学習材を自ら選ぶ学びの時間を設ける。
- ・文房具としてのタブレットを、**学びの選択肢の1つ**と捉える。タブレットが必要な時にすぐ使える環境・状況をつくる。

## 【学び方】

- ・ひとりで学ぶ（個別）
- ・みんなで学ぶ（協働）
- ・先生と学ぶ（一斉・個別）

## 【学習材】

- ・教科書＋ノート
- ・ワーク
- ・プリント
- ・**タブレット**
  - ・デジタル教科書
  - ・学習ドリル
  - ・学習サイト
  - ・学習動画（YouTube等）
- ・持ち込み教材

## 【教師の変容】

自由度の高い活動で生徒が生き生きと試行錯誤の様子を見て、「教師がいかに教えるか」以上に「生徒がどう学ぶか」を軸に据えた授業づくりの必要性が高まった。

## 【目指す生徒の姿】

- ・自分の学びを深めるために、様々な学び方に挑戦する。
- ・自分に適した学び方を発見したり、課題によって学び方を変えたりする。
- ・他者の学び方を参考に、自分の学び方を変容させていく。（自己調整力）

## 【生徒の変容】

年度当初は、自分の活動を自分で決めることに慣れず、教師のおすすめや周りに倣う生徒が多かった。教師が各学習材の特徴を繰り返し紹介するうちに、自分の特性や内容の難易度に合わせ、理由をもって選べる生徒が増えてきた。



【取組内容①】「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」（アウトプットを中心とした授業）

- ・授業において、生徒が考えをクラウド上に入力・共同編集し、意見共有を行う。（Googleスライド、Jamboard等）
- ・クラウドの活用により、他者参照、意見共有がぐっと手軽なものになった。

【目指す生徒の姿】

- ・問題解決に向けて、主体的に粘り強く取り組む。（学びに向かう力）
- ・自分で適切な課題設定ができ、解決に向けた見通しを立てて活動できる。（学習過程を身に付ける）

【生徒の変容】初めは教師からすぐに答えを教えてもらえないことに戸惑っていたが、経験を積むうちに「教えてもらえる」を待つ生徒が少なくなってきた。他者の意見を参照しながらでも、人に聞いてでも、何とかして自分で解決しようとする様子が見られるようになった。多様な意見に一瞬でふれることができる良さを実感する声も聞かれた。

【教師の変容】アウトプットを中心とした授業に転換してみると、生徒が「自分で考える」のに慣れていないことに気付かされた。教師は活動状況をクラウド上で即時に見取れるため、学習活動が良い方向に進むよう支援することが容易になった。また、生徒の実態に応じて学習過程をどのように設定するか等、授業づくりの視点が変わってきた。全体で確認すべき事柄を授業のどの場面で押さえるか、教師側の課題も多く残る。

自 (6) 補助線をひいて考える

100点  
7・10月25日

(めあて) 補助線をひいて、角の大きさを考えてみよう

【課題】補助線をひいて角の大きさを求める方法を、スライドにまとめる。

【授業の流れ】

1. 例の問題の解き方を友達に説明し、スライドにまとめる。
2. 友達が作成した問題の解き方を、スライドにまとめる。
3. 終われば前回の解いてない問題や、ワークをする。

【評価】

- S: すべての問題の角度を求めることができる。
- A: 2つ以上の問題の角度を求めることができる。
- B: 例の問題の角度を求めることができる。

【2-3】(6) まとめスラ...  
Google スライド

The screenshot shows a Google Slides presentation titled "[2-3] (6) まとめスライド". It displays a grid of slides with geometric diagrams and handwritten student work. The diagrams involve parallel lines and transversals with various angles labeled. The student work includes handwritten calculations and diagrams. For example, one slide shows a calculation:  $b + b + 60 + a = 180$ ,  $a + b = 70$ ,  $x = 180 - (a + b) = 180 - 70 = 110$ . Another slide shows a calculation:  $92 + b + a = 180$ ,  $b + a = 88$ ,  $x = 180 - (88 + 14) = 78$ ,  $z = 83$ . The bottom right slide shows a calculation:  $z = 180 - (83 + 14) = 83$ .

【取組内容④】校務の徹底的な効率化

- ・校務上の連絡をクラウドで行う。（Googleチャット）
- ・従来の連絡方法（口頭連絡、職員室内の掲示板、県内校務支援システム、市内校務支援システム）に加えて導入。
- ・Googleの一連の機能と連携しているため、データの共有が容易になった。
- ・スマートフォンアプリの活用については課題も残る。

【効率化できた校務の例】

- ・日程変更の連絡
- ・校務締切のリマインド
- ・職員会議の資料添付
- ・研究資料の配付
- ・研修講義メモの共有（白紙共有）

【教師の変容】

校務端末でのチャット機能はこれまでも存在していたが、クラウド上のチャットになり、便利さから活用率も高まった。

